

「ASグループ基金」様より、今年度も「長崎県愛の福祉基金」へ

寄付をいただきました。

「ASグループ基金」とは、昭和31年3月、長崎県警察本部へ「気の毒なお友達にあげてください。A子S子17歳」という便りとともに300円が送られてきたのをきっかけに、名付けられました。その後、Y子さんも加わり、昭和48年から「長崎県愛の福祉基金」へ寄託されています。

平成16年からはY子さんの娘さんが、亡くなった母親の遺志を継ぎ、寄付を続けておられます。

今年度も令和7年1月27日に、長崎県警察本部より「ASグループ基金」として長崎県愛の福祉基金へ寄付されました。

A子さん、S子さん、Y子さんが始められた寄付は、Y子さんの娘さんへと引き継がれ、その善意は60年以上欠かさず届けられています。

今年は、Y子さんの娘さん等に引き継がれて40回目（累計23万5千円）の年を迎えます。



キャッチくん（左）と愛の福祉基金箱（右）

いただいた浄財は、長崎県愛の福祉基金条例に基づき、障害者の福祉の増進を図るため、愛の福祉事業振興補助金をはじめ、障害者芸術祭や障害者スポーツの振興等、県内のさまざまな障害福祉事業に有効に活用させていただきます。



長崎県警察本部（写真左）から、長崎県障害福祉課へ寄付の様子